

平成27年度 福井県立高志高等学校 学校関係者評価書

- (協議題)**
- ・学校評価書の成果と課題の分析・考察が適切であるか。
 - ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切であるか。

(御意見を伺った方々)

学校評価協議会	PTA会長	土谷 秀靖			
	PTA副会長	千葉 美知子	福田 竜一	山口 洋和	片川 雅美
	PTA会計	吉田 裕晃			
	PTA監事	仙坊 真也	清水 絹子	安崎 倫広	柳原 由紀
		山田 朝美	朝倉 邦真	富田 早苗	
				以上13人 (敬称略)	

○教育課程・学習指導・研修

- ・学習スタイルは子どもの考えと親の考えには開きがある。アンケートで親はこう思っているというのを知らせるのもよい。
- ・先生が予習の成果を必要とする授業を実施されているのに、学生があまりまじめに予習に取り組んでいないというのは、その重要性が分かっていないためである。根本的な学習態度、意識の改革が必要かもしれない。
- ・(学習に対する満足度が) 時間なのか態度なのかで満足の評価が異なる。質問のしかたがやや曖昧かもしれない。
- ・昨年に比べほとんどの項目で数値が上昇しており、今後もさらなる改善をお願いする。
- ・第2学年の「第1志望宣言」、オーラルコミュニケーションなどで、モチベーションを高めているが、子どもの学習意欲が今ひとつなのが実情である。

【今後の対策】

- ・今後とも、生徒に対し、予習の重要性を啓蒙していく一方で、授業公開においては、予習指導や評価の観点から実施や参観ができるようなしくみを考えていく。また、家庭学習での在り方を考える上で、より効果的な課題のあり方について検討していく。

○生徒指導

- ・SNS関係のことはこれから最も重要なことだと思う。マナーを守るといのはしっかり教育することが良いと思う。
- ・高志高校の生徒は、元気に挨拶をしてくださるのでとてもよい。
- ・スマホについては親子間ギャップが大きい。今後も適切な使い方について家庭でも指導したい。
- ・挨拶など社会的マナーやルールがしっかり守られているのは良いことである。
- ・スマートフォンの使用ルールなど家庭でのさらなる取組への啓蒙が必要である。

【今後の対策】

- ・スマートフォンの利用に関する研修会の実施や、本校HPで公開している「我が家のケータイ・スマートフォンルール 7カ条モデル」などを利用して家庭でのルールづくりを進める。また、PTAの家庭との連携の在り方について検討を進める。

○進路指導

- ・職業を意識した進路教育は必要である。
- ・センター試験を終え、はじめてセンターの点数がシビアに志望大学を限定することが分かった。現在の受験のシステムは大変複雑である。子どもは先生からていねいな御指導を受けていると思うが、それでも受験をして結果(点数)がでて、ここも、そこもだめという現実を知るまでその厳しさを理解していなかったように思う。国公立大学を希望するのならいかにセンターの結果が重要か、その結果を出すには地道な基本的学習がどれだけ大切か、早い時期より具体的な指導をしていただきたい。また、親はさらによく分からないので保護者の研修会をもっと時間を掛けてしっかりやってほしい。
- ・職業という観点からの大学選びも重要である。特に県外に出て行く学生にはUターンしてほしい気持ちもあり、福井の仕事についても知ってほしい。

【今後の対策】

- ・保護者との連携を密に、保護者進路研修会などの機会を通し、スケジュールや進路計画を発信していく。

<p>○保健管理・教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩みを持つ生徒への対応を強いものにしてほしいと思う。 ・非常に健全である。 ・悩みを抱えている生徒への取組に、少数とはいえD評価があるのは問題であるとする。 ・クラス替えの後のなじめなさが尾を引いて、学習意欲にも響いているようである。
<p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で指導する体制の充実を図り、担任、教科担任、相談室の連携を図り、早期発見・早期対応の体制を充実させる。
<p>○渉外・安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者研修会等に気軽に参加できるようにして、参加者を増やしていくようにしてほしい。
<p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路保護者研修会など進路に関する行事を1，2年生も合わせて実施し、内容の充実に努めるとともに、進路指導部と連携を図り、ホームページの充実など情報提供に努める。
<p>○図書指導、情報管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書離れをなくす工夫と企画をたくさん作ってほしい。認知度をアップさせる。 ・図書館を利用する生徒が非常に少ないのが残念である。読書やネットではない資料の閲覧など図書のすすめは先生方からももっと積極的にしていただきたい。 ・子どもにそもそも読書する時間がないかもしれない。 ・図書の貸し出しが増加していることは大変良いことだと思います。 ・家庭で本や新聞を読む習慣を付けることが必要だと思います。 ・情報提供において、ホームページでのリアルタイムな発信があるとありがたいです。
<p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館からの広報活動内容の認知度を上げるとともに、生徒が希望する書籍や授業で必要とする書籍を多くそろえ貸し出し数が増えるようにしていく。
<p>○理数科指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習の方法が変わったので結果が変わった。良い方法に変えたのであれば良いと思う。 ・諸行事成果の満足度100%は大変素晴らしい。
<p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の理解につながる予習のやり方を明確に指示し、予習型の授業をさらに推進していく。
<p>○SSH・SGH</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSHに関しては、もっと深く掘り下げた探究をしていくと素晴らしいと思う。 ・前向きで良いと思う。 ・授業行事の満足度が上級生の方が低くなっているのは受験との関係か。
<p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業の意味を丁寧に生徒に説明していくような実施方法を工夫する。
<p>○全体（総括）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生も生徒も同じ方向に向いてがんばっている良い結果が出たと思う。数字だけでなく細やかな配慮をこれからも願います。 ・先生方達が一生懸命取り組んでくださるので安心してはいる。 ・悩みを持っている生徒への取組はどのようにされているか？特に、担任に話せないときなどはどうか。 ・とてもいねいに御指導いただいている様子が伝わってきた。
<p>○学校関係者評価を踏まえた今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導については、予習を中心とした授業展開への理解は得られているものの、家庭学習での定着を促進する。また、進路指導面については、センター試験など入試のしくみ、さらには職業選択を含めたキャリア教育について、情報提供を一層進める。 ・生徒個人の悩みに対する対応をより充実させてほしいとの要望があり、機能的で実効性のある相談体制の構築に努める。 ・スマートフォンや進路に関する話題をきっかけとして、家庭内の話し合いが促進されるよう、HPや各種広報、学年便りなど、情報の提供を一層推し進めていく。